

データセキュリティ 体制管理ガイド:

DSPMが「Data Security Everywhere」の基盤となる理由

組織全体で隠れたデータリスクを検出して分類し、修復の優先順位をつけます

データは貴重な存在ながらも脆弱です。IP、PII、PHIのいずれであれ、未使用のまま放置されていたり、クラウドやオンプレミスのデータストレージに散らばっている未知の機密情報は、漏洩や規制上の罰金のリスクの原因となります。

データリスク

1/3

侵害の多くにシャドーデータが関与しています

IBM Cost of a Data Breach Report 2024

93%

組織の多くがプライバシーをトップ10の組織リスクとして指摘しています

IAPP & KPMG Privacy Study 2023

130+

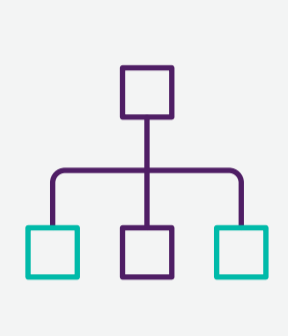
多くの国が国際データプライバシー法を持っています

UN Trade and Development (UNCTAD)
194国中137国 - 71%の国が何らかの形で法律を制定しています

DSPMのメリット



発見と分類



プロアクティブセキュリティ



データリスク対策



データ所有者アクセスとアクセス許可の管理



データ感度に関するコンテキスト



ROT (冗長、古い、些細な) データの識別

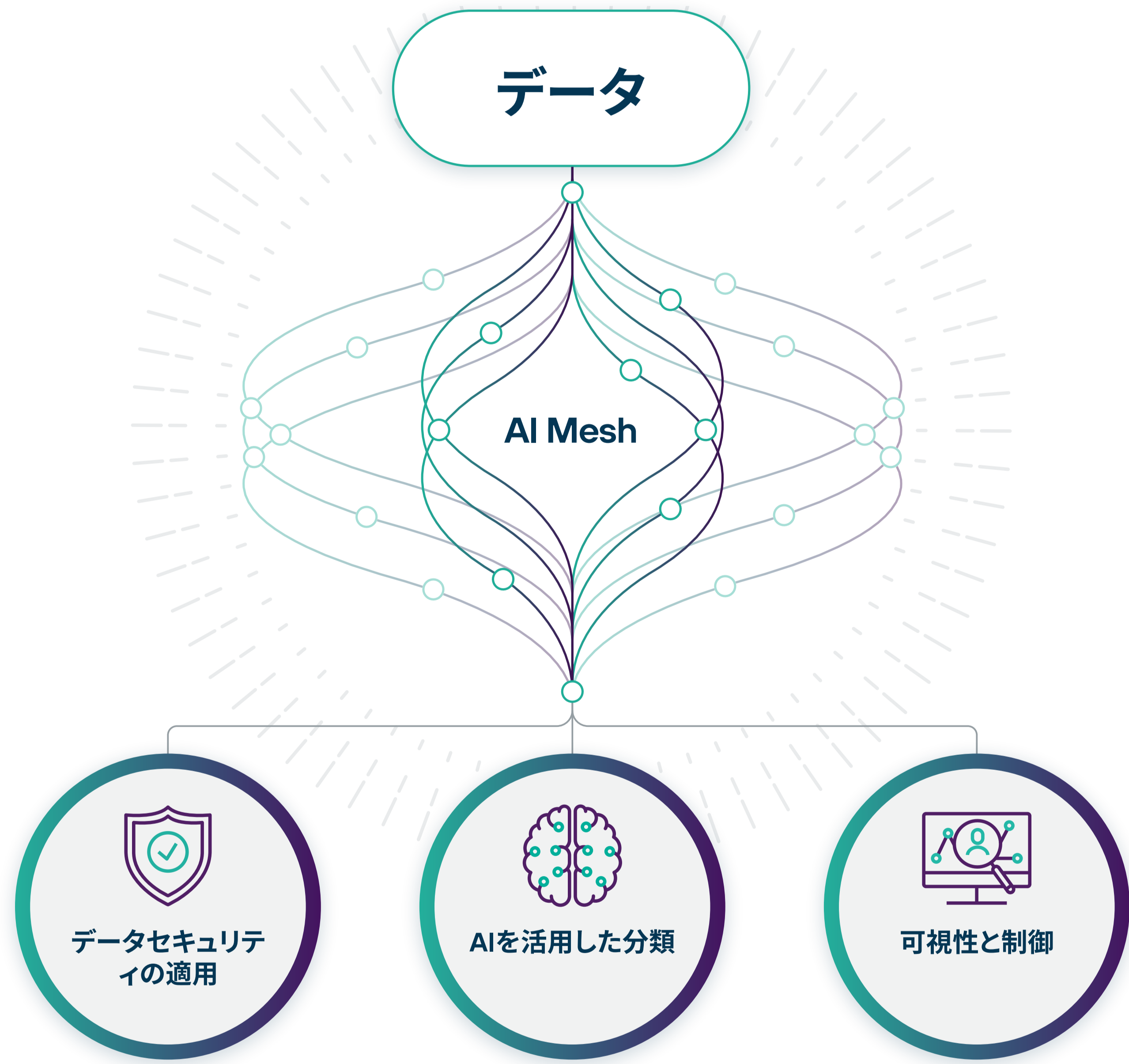
Forcepoint DSPMの利点

リスクに優先順位を付けて、セキュアにコラボレーションし、コンプライアンスを簡素化します。

- 安全なデータ体制を整え、組織の俊敏性を強化し、データ検出と分類を自動化して時間を節約し、データアクセス管理を簡便化して従業員の遅延や不満を減らすことで、**生産性を向上**させます。
- 先を見越したリスク管理でデータ侵害のリスクやコストを大幅に削減し、安全なデータ体制を確保してビジネス運用を加速し、冗長または古くなったデータを排除してデータストレージを最適化することで**コストを節約**します。
- データの冗長を最小限に抑え、データ主権を確保し、最小特権の原則 (PoLP) を維持することで、**リスクを減ら**します。効果的な態勢管理を通じてデータ侵害のリスクを減らし、規制要件への準拠を確保します。
- データを一元化して、ポリシーの施行を簡便化し、データガバナンスを実現するために**コンプライアンスを合理化**します。監査を容易にするために、広範なレポートでデータプライバシーコンプライアンスを実証します。

AI Meshを搭載した高精度なData Classification

Forcepoint DSPMは、GenAI Small Language Model (SLM)、ディープニューラルネットワーク分類子、ライトAI分類子、その他の予測AIおよびデータサイエンス機能を採用する高度にネットワーク化された分類アーキテクチャであるAI Meshを使用して、より効率的で正確なデータ分類を実現します。



データリスクを検出し、修復する準備はできましたか？

Forcepoint DSPM「Data Security Everywhere」アプローチは、事前のデータセキュリティとデータセキュリティポリシーの実施を組み合わせます。迅速な導入機能とAIを搭載した自動化で、Forcepoint DSPMは、新たな脅威に先んじて対応し、簡単に規制コンプライアンスを確保します。

エキスパートと話す

Forcepointについて

Forcepointは、グローバルなビジネスと政府機関向けのセキュリティを簡素化します。Forcepointが提供するオールインワン、完全クラウドネイティブ型のプラットフォームにより、ゼロトラストの採用が容易になります。またユーザーがどこで働いていても、機密データや知的財産の盗難や紛失の防止は簡単です。テキサス州オースティンに拠点を置くForcepointは、150か国以上の顧客組織とその従業員に対して、安全で信頼できる環境を作り出しています。 www.forcepoint.com、[X](#)、[LinkedIn](#) Forcepointとつながりましょう。